

小須戸公民館報

町館信日
戸公常月15
須中央田
小成毎月
発行日
印刷所
須昭堂印刷所

昭和60年度 小須戸町老人クラブ連合会 総会終了

日時 四月三十日(火) 十時
会場 中央公民館三階
レクリエーション(二回) 七二五人

全町二十三の老人クラブが今年度活動の出発として、去る四月三十日十時より、中央公民館で町老連の総会が町長さんをはじめ来賓を迎え会員二〇名の出席のもと盛大に開催されました。先ず本多副会長の開会のことは次いで力強い生活信条でもある老人クラブのうたの合唱、次いで会長の新年度に対する抱負と基本方針を指向されたあいさつがあり、議事が進められた。

(1)五十九年度活動報告
 教養及び研修会(六回) 五〇九人
 奉仕活動(十七回) 三九七人
 スポーツ大会(七回) 八六六人

①一般会計
 収入 百九十一万四千円
 支出 百八十五万二千円(残六万二千元)

②委託事業
 収入 百十三万五千円
 支出 百三万八千円(残九万一千円)



水彩クラブ 森田芳江

深雪が早く消えて、やわらかな日ざしの春を待ちかまえていた私どももようやくその時期が参りました。そこで天ヶ沢・鎌倉のゲートボール愛好者が集り一年の計画を立てて、練習に余念がありません。

事の起りは昨年、町関係者の御厚意で私も念願のゲートボールコートが旧宮地跡に造成されたのですが、一面コートでは練習にとても不便で、二面にどうかと鋭意話し合ったところ、幸い土地はどうやら内容で早速村の重立ち並びに町御当局へ再度御願したところ、深い御理解を頂いて二面のゲートボールコートが実現しました。

私も会員一同大変喜び、また感謝一杯です。

甘えてばかりではどうかというので、手製の腰掛を四方

これこそ親善 天ヶ沢・鎌倉ゲートボール 愛好者張切る

に設けました。またコートの修復や木陰を植樹をして環境整備に努めております。関係頂いた皆様大変ありがとうございます。(天ヶ沢平間 勉記)

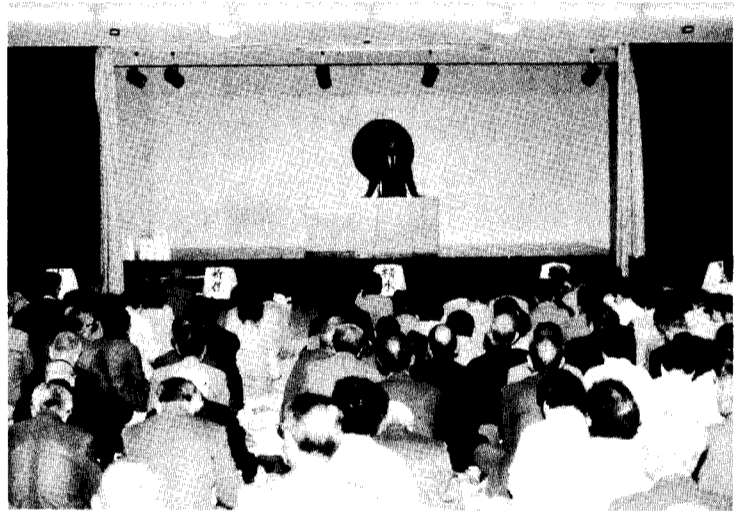
小須戸町

ゲートボール協会 結成

小須戸町の社会体育の振興の一つとして老人クラブ員の外に一般市民の皆さんも参加をいただき三世代でも楽しめるゲートボールを目ざして、小須戸町ゲートボール協会が結成され、各加盟団体より一名の理事、十六名による理事会が五月七日開かれ、役員が選出、事業計画、予算等が決定されました。

役員は次の通りです。

- | | |
|-----|-------|
| 副会長 | 高山 仙一 |
| 〃 | 小林 省衛 |
| 監事 | 打合清三郎 |
| 〃 | 渡辺 和義 |
| 事務局 | 小林 省衛 |
| 会計 | 野崎 定次 |
| 顧問 | 豊田奈賀雄 |
| 〃 | 成田 常信 |
| 〃 | 三浦 保 |
| 相談役 | 森田 登 |
| 〃 | 荻森 朝夫 |
- 会長 藤宮 正雄



- (3)六十年運営の基本方針
- 魅力ある老人クラブ活動の展開
 - 会員の増加(特に低加入地域の努力)目標七十五%
 - 幹部役員の若返りと役員の研究
 - 単位(地区)クラブ活動の定例化(活動内容の充実)
 - 昭和六十年年度予算
 - 一般会計
 - 委託事業
 - 生きがい対策費
 - 単位老人クラブ補助
 - 合計 五百二十万六千円
 - 役員その他幹部役割分担
 - 副会長 吉田吉平(新任)
- ◎監事 吉田二(新)
◎高橋 清(新)
◎総務部長 吉田源吾(新)
◎副部長 星野富作(新)
◎木伏信一(新)
◎城丸スミ(新)
◎教養部長 小林博二(新)
◎同部長 藤宮正雄(再)
◎福祉部長 風間誠作(新)
◎同部長 長沢喜一郎(新)
◎同部長 豊田治作(新)
◎本多弘次(再)
◎運営委員長 新井田七郎
◎同委員長 砂井久造
◎事務局 荻森朝夫(再)
◎事務局長 菅野朝夫(再)
◎なお永年にわたり役員として活躍されこの度の改選で退任される方々は次の通りです。
- 土屋安二(副会長)
本多清七(総務部長)
高山重太郎(福祉部長)
楠原真次(教養部長)
- さる四月二十一日(日)西蒲内野地内で第四十六回町民魚つり大会が開催されました。入賞者は次のとおりでした。
- 大量賞
 一等 久保 光正
 二等 内山 忠男
 三等 吉村 信夫
 三等 加藤 敏雄
 三等 波多野八男
 四等 五十嵐 明
 四等 小林 良徳
 四等 岡 謙吉
 四等 久保 進
 大物賞 波多野八男
 PP賞 渡辺 力

公民館のクラブ紹介(七) シーズン到来 小須戸町愛鱗会連合会

鮎は早春に巣離れをし、そして桜の花が散り桃の花が咲き始める四月下旬より五月中旬にかけて産卵期を迎へ産卵のため浅場に集る。この時期の鮎は極めて食欲旺盛で食欲なほど餌を追うため良型が数多く釣れる。これが鮎の乗っ込み期であって釣り師待望のシーズン到来となり、日曜日が待ち遠しく貴重な年休を当てることが多く、また日夜気温・水温・風向きなど天候と水色が気掛りな日が続く頃となる。

さて、小須戸町愛鱗会連合会は愛鱗会、友鱗会、加留クラブ、竹井クラブ、大天狗会(矢代田)その他の会をもって構成され、例年四月第三及び十月第二日曜日に公民館と共催で町民釣り大会(連合会大会)が開催されることになっており、今春は去る四月二十一日に新潟市内野野地内において第四十六回大会が開催されました。

この連合会は昭和三十五年に竹井機器工業(株)の前社長竹井七郎氏の提唱で愛鱗会として結成されましたが、その後会員数が八十名を超えたことから、より釣り人口の増加と初心者へのクラブ等への入会を容易にするため、各地域あるいは職場単位での釣りの育成に重点を移した結果各クラブ、釣り会自体の自主運営による大会が盛大にかつ数多く開催されるようになり、連合会は前述のとおり春秋二回の大会を通じて各チーム間の親睦を深め、釣り場の開拓そして情報の交換に努めております。また各会、クラブでは釣り愛好者の入会をいづれも強く望んでおりますので、初心者を問わず愛好者は遠慮なく希望する会へ入会することをおすすめする次第であります。

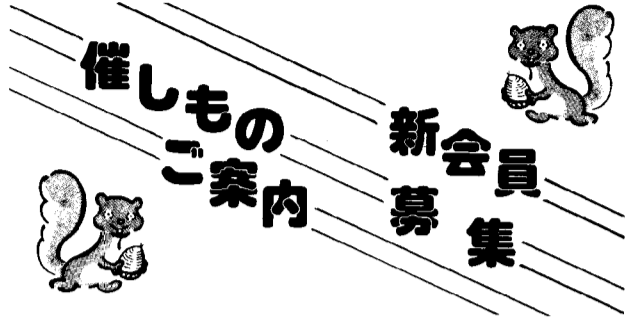
以上が愛鱗会連合会の紹介ですが、巷間貿易摩擦が懸念されまた臨教審による教育改革の動向が論議される今日、俗界を離れて早朝の陽光を背に、一人静かに釣り糸を垂れ、無心に魚信を待つ、その姿に雑念はなく、自然界にわれ一人という観である。そして釣りを終え、鮎を川に放流して納竿するときの満足感と心良い疲れは、必ずや明日への大きな活力と明るい希望となることであろう。



社会教育活動の各種委員の紹介

昭和六十年度の社会教育活動に重要な役割を果たしていただく各種委員も決まり、もう既に各種委員会も開かれ、六十年度の社会教育はスタートしております。次に各委員をご紹介します。

- 社会教育委員 氏名 住所 滝沢 定春 新潟市 五十嵐俊英 三条市 高橋 昇 五泉市 板井 悦 新栄町二 三浦 保 大ヶ沢一 渡辺 勝 鎌倉 木村敬三郎 水田 小柳 篤信 横川浜 吉田 吉平 新町二 氏名 住所 伊藤 敏 新潟市 滝沢 定春 新潟市 板井 悦 新栄町二 平岡 福治 天ヶ沢一 渡辺 勝 鎌倉



新会員募集 催しもの案内

健康さわやかクラブ *会*員*募*集* 今までのレクリエーションクラブが「健康さわやかクラブ」と名前を一新し、新会員を募集いたします。 活動日は毎週日曜日午後七時三十分から九時三十分まで、健康体操を中心に、一、二週は軽体操、その他夜間ウォーク講習及び研修などで盛況です。運動不足解消のため始めてみてはいかがでしょうか。 会場 中央公民館三階 ※参加希望者は日曜日の練習時に来てください。お待ちしております。



父の日 6月16日

新たに 野球スポーツ少年団加わる

小須戸町のスポーツ少年団には、柔剣道、サッカー、太陽の子少年団がありますが、今年度より新たに野球スポーツ少年団が加わり、ますます少年団活動が活発になってきました。 野球スポーツ少年団の現在の人数は二十名。今日の練習は人数が少ないながらも内容の濃いものでした。野球の技術とチームワークの向上のためがんばっています。(写真は練習後のガッツポーズです)



野球スポーツ少年団の練習後のガッツポーズ

町民の皆さんへ 犯罪捜査にご協力を!

警察は事件の発生と同時に、各種の捜査活動を強力に推進してまいります。町民の皆さんに犯罪捜査に対する協力が是非とも必要です。 皆さんのご協力によって犯人を検挙した事件は、県内の場合昨年一年間で約四、〇〇〇件もありました。これは解決した事件全体の三パーセント近くにもなっています。犯罪に関して見たり、聞いたり、また知って

分館だより

新保分館役員決まる 分館長 大貫 泰弘 副分館長 高山信市郎 丸山 猛 高橋 邦男 高山信市郎 高山信市郎 高山信市郎 高山 光栄 新保分館講演会のご案内 次により講演会を行います。 多数おいでください。 期日 六月十五日(土) 午後七時~九時

四月句会報 小須戸町俳句同好会

点滴の 零数へて 日脚伸ぶ 黄水仙 そこから明けし 河原畑 縫ぐるみに 必勝鉢巻 受験の娘 風花や 二日旅して 掌の柔し 枯葉を 高くまどえり 田母木の芽 天神忌 今年も由来 説く老母 湯元まで 雪壁のころ 木の芽晴 大正琴 指つまづきし 弥生かな 切り落す 長枝短枝も 芽吹きおり 雪折れの 枝の始末の 大焚火 たまり人 齢を誇りの 涅槃寺 木の芽晴れ 村に小さな地蔵祭 雨打ち出す 町の匂いも 春の宵 春昼や 国ぶり自慢の 葉売り 製材所 裏は大川 柳の芽

短歌

沈丁の 花の香匂ふ 路地裏に 幼児三人 影踏み遊ぶ 花曇る 小須戸田の原 煙立ち 農事の音す 朝な夕なに

中学生文芸 俳句クラブ作品

帰り道 蛙の声に 耳傾け 残雪は 一つのまにやら 消え去りぬ 陽炎の 野原に立てり 一面に チューリップ 畑一面 赤黄白 吹く風に こぶしの揺れる 水の上 チューリップ 蝶まねくように 咲いており 春風に 桜花散る 土手の道 菜の花の においたたよう 散歩道 チューリップ 微笑みながら 咲いている 道の端 黄色い水仙 ひっそりと 青い空 屋根より高い、こいのぼり